

美波町 議会だより

第45号 平成29年6月定例会

第3回臨時会の概要	p2
6月定例会の概要	p2
一般質問	p4
各議員の賛否	p9
議長の主な活動状況	p10
各委員会報告	p11

『カッパ天国』
くじら岩（西河内）



第3回臨時会の概要

平成29年第3回臨時会を平成29年5月26日に開催しました。臨時会に提出されている専決処分承認、美波町教育委員会委員の任命、また物品契約2件について町当局より提案理由の説明がありました。

議案審議の内容

◆議案第43号

物品購入契約（小型動力ポンプ付積載車）の締結について

【質問】 江本議員

ポンプ車の買い替え時期の判断は。

【答弁】 近藤消防防災課長
特に何年という決まりはない。今回は、分団からの申し出があった。他の分団についても、20年を経過している車もあるので、今後各分団とも相談をしながら、購入時期について考えたい。

【質問】 中川議員

購入するポンプ車及びポンプの性能は。

【答弁】 近藤消防防災課長
車は、ダブルキャビンオーバー型、定員6人のトラック型で、ポンプは、エンジンが直列3気筒の4サイクルの水冷式、最大出力22馬力以上の動力ポンプとして

◆議案第44号

物品購入契約（搬送班高規格救急自動車）の締結について

【質問】 戎野議員

初期対応において救命措置をできない状況、将来的

に搬送班の海部消防への統一という見直しもあり得る中で、その後の使い方も含めて車両の有効利用は。

【答弁】 影治町長

搬送班を海部消防に組み入れることは難しいと思われる。現在、病院転院搬送も4割近くあるということから、搬送班に関しては、今後の方向性について検討を重ねているところであり、来年の3月議会で方針について報告をする。

【質問】 岩瀬議員

美波病院以外の病院からの転院搬送には使えないのか。

【答弁】 海司由岐支所長

これまでと同じく美波病院だけからの転院搬送になる。

6月定例会の概要

平成29年第2回定例会を平成29年6月12日から6月16日までの5日間開催しました。

影治町長より、3月定例会以降の町政の進捗状況及び定例会に提案されている報告6件、指定管理者の指定議案1件、協定締結議案

1件、条例議案4件、補正予算議案3件、人事案件1件について町当局より提案理由の説明がありました。

議案審議の内容

◆議案第47号

美波町行政手続きにおける情報通信の技術の利用に関する条例の制定について

【質問】 戎野議員

情報漏洩が行われ、個人が損害を受けた場合、町が補償をするのか。オンラインで申請をした場合、その料金収納の規則はどのようなに明記されているのか。

時に個人番号カードをカードリーダーで読み取り情報を入力するため、個人番号カード自体を持っていないとマイナポータルへは接続できない。また、今回は子育てワンストップサービス等の申請関係だけで収納に係る事務はない。

【答弁】 磯野総務企画課長
マイナポータルは、登録

質問 北山議員

7条の公表について、広報等という方法を言われたが、それでどれだけ周知できているのか実態を伺いたい。

答弁 磯野総務企画課長

現在、町が行っている広報の中では、周知の率が一番高い。今後、町のホームページも使いながら、十分な周知に努めたい。

質問 江本議員

この条例の施行について、窓口での届け出等はどのようになるのか。

答弁 磯野総務企画課長

現行の届け出等については、今までと変わりなくできる。加えて、マイナポータルを利用して、子育て関係の申請等の児童手当の住所変更、認定請求、保育施設等への申し込み、児童扶養手当は現況届、母子保健は妊娠の届け出が出来ることになる。

反対 戎野議員

情報漏洩も懸念され、今後、維持費の費用もかかる。検証等も十分できていないため、また住民への周知も必要と思うので、反対する。

反対 北山議員

7月1日からマイナポー

賛成7 反対4 で可決。

採決結果

タル運用の一部開始とはい

え、9月議会まで延ばし、議員も勉強する必要があると考えるため、反対する。

◆議案第51号

平成29年度 美波町一般会計補正予算

質問 北山議員

漁港建設費の工事請負費を委託料に振り替えているが、当初の計画は。

答弁 鶴木建設課長

恵比須浜漁港の浚渫費用として工事請負費で計上し

ていたが、漁協等と改めて浚渫の場所、方法に関して検討をさせていただいたところ、深淺測量等の調査が必要となったため、今回工事請負費を減額し、測量調査委託に組み替えをする。

論、採決を行った。

●討論

賛成 戎野議員

委員長の報告の中で審議は十分されたと述べられていたが実際は請願質問の1番目だけで他は充分になされていない。議会運営委員会の在りかた、請願に答えようとしないう審議に対しては反対である。(請願には賛成)

賛成 中川議員

松本議員は事実には反することを言われたので訂正しておきたい。傍聴者はその時は発言は一切していません。傍聴者は聞きたいのを排除された、そのことで「議会だより」に投稿したのを

賛成 北山議員

質問の一番目は審議されたと感じるので一部採択とする。

賛成 江本議員

全員協議会の運営については議長の判断で行えるという理解しておりそれを支持するため反対する。

賛成 4 反対7 で不採択。

採決結果

継続審査の案件

請願

「的確な議論で全員協議会が開催されることを求める請願について」5月26日

に行われた議会運営委員会に審議された内容について、不採択との委員長報告を受けたあと、質疑を行い、討



一般質問

① 空き家対策の今後の見通しは

答 弁
窓口の一本化（ワンストップ窓口）については、住民の方がより利用しやすい方向で検討する。



議員 寺下 博子

による実態調査を行い、調査結果をもとに計画策定業務を委託し、今年度中に策定する予定。補助金の交付は、平成25年度13件、平成26年度8件、平成27年度10件、平成28年度4件、平成29年度6月現在1件交付、6件審査中。

質 問
空き家対策特別措置法の施行により、特定空き家の明記、措置が可能となったが、本町での戸数は。また、空き家対策計画の策定状況、老朽化住宅解体費支援事業補助金の交付状況は。

答 弁 鶴木建設課長
特定空き家はなし。平成28年度に町内会連合会に調査委託し報告のあった540件について空き家判定士

内63ヶ所。今年度は同様のものを新設で21ヶ所の予定。今後、自主防災会とも協議しながら、年次計画を立てて整備していく。

質 問
町の移住交流支援センターと委嘱されている移住コーディネーターとの連携は。空き家再生等推進事業補助金の交付状況は。

答 弁 磯野総務企画課長
移住コーディネーターは、移住者への相談支援、空き家情報の収集及び提供、移住交流支援策の提案や関係機関等の調整、連携、協力体制づくりの役割を担い、町との連携としては、各種移住フェアへの参加、空き家を含めた町内の案内など受け入れのサポートなどを行っている。補助金の交付は、初音湯の改修等4件。

質 問
空き家判定士、空き家コーディネーターの育成、空

き家バンクの充実、シェアハウス整備の方針や現況は。

答 弁 磯野総務企画課長
空き家判定士は町内で2名の登録があり、空き家コーディネーターは登録者はいない。

② 南阿波定住自立圏共生ビジョンに基づく本町としての取り組みは

答 弁
阿南市を中心として関係町がさらに協力体制を強め、取り組むことが必要だと考えている。

質 問
新たな共生ビジョンはどのようなものか。

答 弁 磯野総務企画課長
前回の共生ビジョンを基本として、1市4町で取り組む事業で、3つの政策分野、37の事業で構成している。

新しく成果指標も設定し、事業を継続的に改善する仕組みとしては、PDCAサイクルを構築する。

答 弁 影治町長

サテライトオフィスについてもシェアハウスのような現場の声を聞くし、一般の方のお試しハウスのようなものも今後必要だと考えている。機会を見つけてお示ししたい。

質 問

2021年ワールドマスターズゲームズの受け入れ体制の連携を、共生ビジョンの事業として具体的に入れるべきではないか。

答 弁 影治町長
ワールドマスターズについては、本町の4年後の観覧も含め大きな契機となる大会なので、共生ビジョンに入れていただくよう申し入れをしたい。

1 県南部の観光開発の推進は

答 弁

海部郡等のDMO組織の検討していく。



議員 永本善次郎

質 問

県西部では5年前からDMO観光地域推進法人を1市3町の官民が参加し、一般社団法人「そのの郷」を設立して、活発な観光客誘致を展開して多大な成果を上げている。県南部（阿南市・那賀町・海部郡）のDMOをどのように考えているのか。

●答弁 小坂産業振興課長 現在県南部には、海部郡3町で取り組んでいる「南阿波よくばり体験推進協議会」や阿南市・那賀町・海部郡3町が参加し、南部総

右下」版DMO組織の検討が承認されている。

●答弁 影治町長

法人の設立については、まずは勉強会から始め、私の方から市・町の首長さんに対して提案をしていきたい。

(注)DMO組織

官民などの幅広い連携によって地域観光を積極的に推進する法人組織

2 農業の再生起爆剤として十薬栽培を進めては

答 弁

希望者を秋口から農協で募る予定

質 問

十薬について3年前からの栽培で10aあたり80万円から100万円の収益が得られるのではないかと思われる。町として実証実験の結果、その現状と将来展望を伺いたい。

●答弁 小坂産業振興課長

農協と役員職員で天日乾燥したドクダミを製薬会社に今年22袋（合計126・5kg）を納品した。運送・農協手数料・刈り取り・乾燥・袋詰等の手間代を差し引いて、作付面積2㌥を反

収に換算して粗収入で50万6千円、年2回刈れる単純計算では100万円となる。今後の方針として当面作付面積は50㌥とし、秋口から作付け希望者を農協で募る予定としている。栽培講習会なども行いながら、恵比須浜田井の試験圃場協の育苗畑及び木岐奥の育苗畑の

種苗を希望者に配布して普及を進める。



ドクダミの試験栽培（恵比須浜字田井）

① TV中継について、今後の方針等は

弁 答 財政の問題、人員の問題等、さまざま勘案しながら、議会とともに考えたい。



議員 中川 尚毅

質問

非常に町民からの強い要望もある。テレビ中継について町は事業化する考えはあるのか伺いたい。

● 答弁 磯野総務企画課長
平成21年6月議会で、行政・議会情報配信システムの構築に関する決議が採択され、その後、国の経済危機対策交付金を財源にインターネットによる議会中継配信システムを整備した。今後も、テレビ中継特別委員会での議論並びに議会の意見もいただきたい。

質問

農産物や魚などの市場の様子や価格など非常にロカルな情報もすぐ知らせることができ、地域経済や町内での消費喚起に非常に有効と思うがどうか。

● 答弁 影治町長
これまでにも何度も答弁しているように、あればいいと思うが、優先順位、議会のコンセンサス、経費、人の問題などがあり、事業化について述べるタイムミングではない。今後も、さまざま勘案しながら、議会の特別委員会と共に考えたい。

② 高台整備事業の代替地はないのか 町民の意見はどう反映するのか

弁 答 未就園児を含めた日和佐こども園の高台移転に関するアンケート、事前復興まちづくりに関する住民意向調査や地区ごとの検討等から意見をとりまとめている。

質問

町民から、①40億という総事業費巨大開発は町民に負担がかかるのではないかと②高台が必要なのは由岐地区も同様ではないか③計画について初めて聞く④全く計画が違うのではないかと⑤この意見も含め見直すべきではないのか。

● 答弁 鶴木建設課長
こども園の位置について、日和佐地区の幼保施設の整備方針検討委員会から候補地条件について(1)高台である(2)送迎に便利である(3)安全な避難路がある(4)自然環境に恵まれている場所という提言を受けた。平成27年

12月の未就園児を含めた日和佐こども園の高台移転に関するアンケートでも9割以上の賛成をいただいている。また、一次緊急輸送道路の国道55号沿いにあり、発災時早期復旧・復興の活動拠点となる公園整備についても適地と考えている。昨年度から事前復興まちづくりについて、地区ごとにワークショップを開き、町民の意見を反映させている。

● 答弁 近藤消防防災課長
由岐地区は、由岐湾内地区において、平成24年から高台造成計画について取り組みを進めている。今後は、地域・関係機関と連携しながら、調査・検討をしていく。

① 町の「過誤納」と徳島新聞の「過誤徴収」とどちらが正しいのか

答 弁

どちらの表現も正しいと思う



議員 北山 朝彦

ん金支給規則には、「過誤納」（間違つて納めた）となつており、徳新の記事は、はつきりと「過誤徴収」（間違つて取り過ぎた）となっている。町の「過誤納」と徳新の「過誤徴収」どちらが正しいのか。

●答弁 山路副町長

表題についての結論は、どちらの表現も正しいと思う。「過誤納」は概ね公租公課の履行に関する場合も限られているので表現した。「過誤徴収」の意味をインターネットで検索すると、「過誤」「徴収」別々の単語として説明され直接的事例はなく、どちらもそれぞれ的事实に基づいた表現と思う。

29年5月16日の徳新に「徳島市、10年余り固定資産税を過誤徴収」という見出しの記事が出た。「徳島市が10年余り固定資産税を取り過ぎていた」ということだが、私はこれを読んで、「本町は大丈夫か?」と思つた。過去に、固定資産評価ミスや、過誤徴収で返還した事例があつたからだ。町当局としても、直ちに本町においては間違いないかどうか確認したと思ふが、その状態を報告されたい。なお、町の過誤納補て

再質問

確認の事態が答弁漏れである。

●答弁 山路副町長

本町は5月が固定資産の納期になつており、連休明けに納税通知書を送付している。課税については、誤りのないよう万全を期し本来誤りがあつてはならな

いのは当然のこと。その後、何万筆ある固定資産税の評価に、納税者から問い合わせや申出等あれば、適切に対応させて頂いている。

●答弁 山路副町長

一点補足します。固定資産について今後誤りがないであるとか、各筆がどうであるとか具体的な確認作業をするよう指示している。

② 危機管理プロジェクトは、北のミサイル問題をどのように考え備えているのか。

答 弁

ミサイル発射で、国・県の依頼もあり町民に町内放送で注意喚起を図つた。また「国民保護計画」は見直したい

質問

道ミサイル落下時の行動について「情報があつたので、「広報みなみ」に掲載する旨の説明と各自自主防災会会長に周知をお願いした。住民への周知の観点は「広報みなみ」掲載にて周知と思つていたので解されたい。ミサイル発射の対応は、危機管理プロジェクト幹事会で「北朝鮮ミサイル発射時の対応について」協議している。

「国民保護計画」にあるあらゆる手段を講じて住民を啓発し、住民一人一人に徹底させると決めている、そのとおり実行されたい。又幹事会の内容は。

●答弁 山路副町長

北朝鮮のミサイルは、町内放送で注意喚起した。体制は3号体制で本部を立ち上げる。国民保護計画は見直す。

質問

美波町自主防災会連合会総会で、「弾道ミサイル落下時の行動について」のチラシが配られたが、趣旨は町民には十分伝わってはいないと思う。町民一人一人に確実に伝わる手段を講じるべきだと思うが町長の所

●答弁 近藤消防防災課長

内閣府や消防庁から「弾

① 高台整備事業の見直し、変更の進め方

弁 答
 高台整備の調査費等に4300万円費やしたが地質や交通渋滞等から場所を変更する。こども園や防災公園等を40億円かけて整備していく。



質問

サンクス裏山高台から道の駅南西側への、高台整備事業の変更について、設計調査費（昨年では4200万円）等が支出されてきたがこれまで合計、幾ら使い、山林他の土地取得費予定額はいくらであったのか。

ら予想されていたはずではなかったのか。概算費用40億円の内訳を説明されたい。国道からの進入路に信号機が必要と思うが設置すべきでは。人口減や住民の必要性の変化など、時の経過による事業の見直しを検討する組織・仕組みを設置していく考えは持っているのか。

●**答弁** 鶴木建設課長
 これまで高台整備に伴う基本測量・設計業務の調査費の合計費用は約4300万円になっている。地質調査では土砂層が浅く切り土部分が岩盤である等及び道の駅出入口・交差点部の交通渋滞があることから位置の変更を行った。施設の整

備規模として日和佐こども園（4,000㎡）、防災公園（仮設住宅用地等2ヶ所）を整備。29年度に道路設計、環境調査、30年度に用地買収、公園・こども園の設計、31年度から工事着手で早期完成を目指す。山林購入の支出額については概算なので控えさせてもらいたい。新たな進入路は安全円滑に通行できる広さなので信号機は付けない。

●**答弁** 影治町長
 事業の再評価等について検討する組織を作る考えはない。



高台造成地イメージ図

② 日和佐浦地区の公共下水道（污水集合同処理）を見直し、合併槽の補助整備を

弁 答
 今後、公共下水道と合併浄化槽補助による整備を推進する。残された本村、日和佐浦地区への公共下水道認可・整備促進に取り組む。

質問

県内で汚水集合処理の大幅な見直しが進んでいる（10市町村で半数の52処理区事業の廃止発表）厳しい市町村の財政事情や人口減少からコストに見合わなくなつたという理由から公共下水道（集合処理方式）を見直し、合併槽の整備、自治体が設置管理する市町村設置型などへの整備検討が進んでいるが、狭隘地区の日和佐浦58鈔の未着手公共下水道を今後どのように進めるのか。合併浄化槽による災害時のリスク分散等下水道からの見直し、合併浄化槽設置への上乘せ補助金の検討など転換を図る考えはないのか。

●**答弁** 鶴木建設課長
 今後の整備方針として、公共下水道及び漁業集落排水の整備と合併浄化槽設置補助による整備促進をこれまで通り推進する。日和佐浦地区にも公共下水道の認可を取っていき、5年毎の再評価を行う。県西部、三好市で導入されている市町村設置型の合併浄化槽は設置時の個人負担は少ないが月々の使用料徴収の必要、管理など詳細な検討に至っていないので勉強を進めていきたい。美波町の汚水処理普及率（現在約35%）を2025年（平成37年度）73%に設定して取り組む。

平成29年第2回定例会 ◆各議員の賛否（全会一致の議案）◆

議 案		結 果
報告第3号	平成28年度 美波町一般会計繰越明許費繰越計算書について	承認
報告第4号	平成28年度 美波町簡易水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	
報告第5号	平成28年度 美波町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書について	
報告第6号	平成28年度 美波町水道事業会計繰越計算書について	
報告第7号	平成28年度 美波町一般会計事故繰越し繰越計算書について	
報告第8号	議会の委任による専決処分の報告について	可決
議案第45号	赤松防災拠点施設の指定管理者の指定について	
議案第46号	美波町公共下水道寺前ポンプ場の建設工事委託に関する協定の締結について	
議案第51号	平成29年度 美波町一般会計補正予算（第1号）	
議案第52号	平成29年度 美波町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	
議案第53号	平成29年度 美波町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	同意
議案第54号	人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて	
発議第5号	美波町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	可決

◆各議員の賛否（賛否の分かれた議案）◆ …… 議長…◎ 賛成…○ 反対…×

議 案	議 員 名	議 員 名											結 果	
		舛田邦人	岩瀬公	江本昇	北山朝彦	◎川尻竹藏	松本晋児	永本善次郎	寺下博子	戎野博	向山篤宏	丸龍孝敏		中川尚毅
議案第47号	美波町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の制定について（条例第15号）	○	○	○	×	—	○	×	○	×	○	○	×	可決
議案第48号	美波町農業委員会の選挙による委員の定数に関する条例を廃止する条例の制定について（条例第16号）	○	○	○	×	—	○	○	○	×	○	○	○	可決
議案第49号	美波町農業委員会の委員及び美波町農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について（条例第17号）	○	○	○	×	—	○	○	○	×	○	○	○	可決
議案第50号	美波町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について（条例第18号）	○	○	○	×	—	○	○	○	×	○	○	○	可決
請願第1号	的確な議論で全員協議会が開催されることを求める請願	×	×	×	○	—	×	○	×	○	×	×	○	不採択

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。

採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

平成29年第3回臨時会 ◆各議員の賛否（全会一致の議案）◆

議 案		結 果
議案第41号	専決処分の承認を求めることについて	承認
議案第42号	美波町教育委員会委員の任命について	同意
議案第43号	物品購入契約（小型動力ポンプ付積載車）の締結について	可決

平成29年第3回臨時会 ◆ 各議員の賛否（賛否の分かれた議案） ◆

議長…○ 賛成…○ 反対…×

議案	議員名	舛田邦人	岩瀬公昇	江本昇	北山朝彦	◎川尻竹藏	松本晋児	永本善次郎	寺下博子	戎野博	向山篤宏	丸龍孝敏	中川尚毅	結果
議案第44号 物品購入契約（搬送班高規格救急自動車）の締結について		○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	×	可決

※議長は賛否の意思表示をすることが出来ません。

採決の結果、可否同数となった場合は議長が採決権を行使します。（過半数議決の場合）

議長の主な活動状況

（平成29年3月定例会
～平成29年6月定例会）

4月15日 新・徳島県立海部病院完成
記念式典

4月23日 阿南市新庁舎落成記念式典

4月25日～26日 海部郡安芸郡町村議会議長会要望活動（東京）

4月28日 海部・那賀町村議会議長会
女性農業委員整備促進要望
受入れ

5月11日 うみがめ上陸祈願神事
焼津市視察受入
（美波ふるさと創造戦略）

5月14日 育英奨学金審査委員会
有田市視察受入
（サテライトオフィス事業）

5月22日 全国町村議会議長・副議長
研修会（東京）

5月24日 要望活動（東京）

5月31日 地震津波防災対策支援の
充実強化
・道路ネットワーク整備促
進（国土交通省、財務省
徳島県選出国會議員）

5月31日

◆ 各議員の出欠状況（平成29年3月定例会～平成29年6月定例会） ◆

出席…○ 欠席…× 委員外出席…△ 委員外…—

日付・会議等	議員名	舛田邦人	岩瀬公昇	江本昇	北山朝彦	川尻竹藏	松本晋児	永本善次郎	寺下博子	戎野博	向山篤宏	丸龍孝敏	中川尚毅
3月30日	議会広報特別委員会	○	△	△	△	△	○	—	○	△	○	○	△
4月19日	総務産業建設委員会	—	△	○	△	○	○	×	○	△	—	○	△
5月26日	議会運営委員会	△	△	○	△	△	○	△	○	○	○	○	△
30日	議会広報特別委員会	○	△	—	△	△	○	—	○	△	○	○	△
6月6日	議会運営委員会	△	△	○	△	△	○	△	○	×	○	○	△
6日	議会広報特別委員会	○	△	△	△	△	○	△	○	—	○	○	△
12日	文教厚生委員会	○	○	—	○	△	—	—	△	○	○	△	○
15日	議会運営委員会	△	—	○	△	△	○	△	○	○	○	○	△
16日	総務産業建設委員会	△	△	○	△	○	○	○	○	△	△	○	—
16日	医療特別委員会	△	○	○	○	△	△	△	○	△	△	○	○

※ここでは本会議、委員会、議会の議決による派遣、その他議長が参加・出席を要請した活動のみ掲載しています。

各委員 会報 告

文教厚生常任委員会

(6月12日開催)

◆ゴミ焼却場問題について

新しい施設の建設候補地について、町長から1月18日開催の海部郡衛生事務処理組合議会全員協議会で、今後は郡内3町で構成する組合議会で相談していくとの説明を受けたが、その後の会合は開催されていないため以後の進展はないと説

明があった。当委員会としては、下審査機関として先進施設の視察をすることに、建設時期など総合的に勘案して阿南市の焼却場を視察先とした。なお、併せて上勝町のゼロウエスト施策も資料を収集して視察を検討することとなった。

◆木岐苦越の墓地計画に反対する決議を求める請願について

この請願については、平成28年12月定例会においても可決採択されているところであるが、その後の状況について町長から次のとおり説明があった。

人と議員4人が反対署名を
持参、また、26日には木岐
漁協の組合長以下6人から
反対のお話を頂いたと説明
を受けた。昨年12月21日に
申請書類の提出があり、疑
義等があったため質問状を

出していたが、その回答を今年3月22日に頂いた。なお不明な点があり申請者と質問等のやり取りをしているところである。疑義がなくなった時点で受付することになる。受付後、何を重点に審査をするとか、審査項目がどれになるかは、現時点では申し上げにくいところであるが、審査結果についてはその時期がくれば、その理由をも併せ報告すると説明を受けた。

今後美波町議会としては、請願を採択していることから、最良の手立てを講じる必要があるため、今後は議長主導の下で全員協議会等
で対応を協議してはという
意見がでた。

議長からは全協を開催する方向で検討するが、議員からも善後策を提案していただきたいと意見があった。



◆その他

●ウミガメ保護について
教育委員会から条例や上陸調査についての説明を受けたが、上陸調査の状況等の資料の提供を依頼した。

●手話言語法について
福祉課長から障がい者に対する補助事業の内容や取り組みについて説明を受け、今後は先進地における条例等資料を収集し調査を進めることとした。

総務産業建設委員会

(6月16日開催)

●水産研究課美波庁舎視察

水産研究課「本館」3階に、県と美波町との協働により、地域・SO企業・大学・行政等が連携・交流する「コワーキングスペース」を設置する場所を視察。



水産研究課美波庁舎視察の様子

大浜海岸南詰より望む



小浜海岸より、日和佐漁業協同組合・天文字山・薬王寺（瑜祇塔）・を見る眺めは日和佐港に新涼到来の季節である。

編集後記

6月定例会の全日程を終えるやいなや第45号の編集に取りかかりました。まず、掲載記事の配置や内容量等により全体的な構成を決め、記事の収集には時間がかかりましたが、各委員が分担した記事を持ち寄り協議し編集しました。特に要約に当たっては、その趣旨を外さないように苦勞しましたが、今後も皆さまが読みやすい、また分かりやすい議会だよりになるように心がけたいと思います。

編集委員：向山 篤宏

● 議会広報特別委員会 ● (お問い合わせ・ご意見は TEL：77-3630へ)

委員長：松本 晋児 副委員長：寺下 博子 委員：舛田 邦人 委員：向山 篤宏 委員：丸龍 孝敏